

平成25年11月の観光客の動向

【 主要宿泊施設と主要観光施設・ドライブインの動向 】

1 概要

平成25年11月における調査対象ホテル・旅館86施設の宿泊客数(宿泊延べ人員)は、合計327,125人で、前年同月比0.2%増となった。このうち外国人は、18,105人で前年同月比45.5%増となった。

平成25年11月における調査対象観光施設・ドライブイン23施設の入場・来場者数(延べ人員)は、合計585,892人で、前年同月比2.2%減となった。

11月の宿泊客数は、関東・中部・関西からの宿泊客は減少したものの、東北・南九州・韓国・台湾からの宿泊客が増加したことなどにより、2か月ぶりに前年を上回った。

外国人観光客については、韓国プロ野球チームのキャンプや台湾からの観光ツアー客が大幅に増加し、9か月連続で前年を大きく上回った。

観光施設・ドライブインの入場・来場者数については、鹿児島地区が減少したことなどにより前年を下回った。

2 主な地区別の動向

- (1) 鹿児島地区の宿泊客数は133,259人と、前年同月比4.1%増加した。
- (2) 指宿地区の宿泊客数は64,048人と、前年同月比1.9%減少した。
- (3) 霧島地区の宿泊客数は68,962人と、前年同月比1.5%減少した。
- (4) 北薩地区の宿泊客数は13,069人と、前年同月比3.0%増加した。
- (5) 大隅地区の宿泊客数は10,107人と、前年同月比10.5%減少した。
- (6) 種子島地区の宿泊客数は2,852人と、前年同月比14.2%減少した。
- (7) 屋久島地区の宿泊客数は12,951人と、前年同月比10.7%減少した。
- (8) 奄美地区の宿泊客数は18,314人と、前年同月比1.7%増加した。
- (9) その他地区の宿泊客数は3,563人と、前年同月比2.7%増加した。

宿泊客数を地区別に見ると、鹿児島地区は、関西・中国・四国からの宿泊客や大会参加の団体客が減少したものの、韓国プロ野球チームのキャンプや台湾からのツアー客が増加したことに加え、修学旅行の団体客の増加などにより、前年を上回った。

指宿地区は、台湾からのツアー客や個人客が増加したものの、関東・関西・中国・北部九州からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が減少したことなどにより、前年を下回った。

霧島地区は、台湾からのツアー客や個人客、大会参加の団体客が増加したものの、関東・中部・関西・北部九州からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が減少したことなどにより、前年を下回った。

北薩地区は、関東・南九州からの宿泊客が減少したものの、関西からの宿泊客や個人客が増加したことなどにより、前年を上回った。

大隅地区は、中部・南九州からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が減少したことなどにより、前年を大きく下回った。

種子島地区は、九州からの宿泊客や個人客が減少したことなどにより前年を大きく下回った。

屋久島地区は、関東・中部・九州からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が減少したことなどにより前年を大きく下回った。

奄美地区は、関東・関西からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が増加したことなどにより前年を上回った。

その他地区は、南九州からの宿泊客や個人客が増加したことなどにより、前年を上回った。

【「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合

平成25年11月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比	参考: 24年前年比 (24/23)
主要宿泊施設	86	327,125	326,613	0.2	▲ 2.6
主要観光施設 ドライブイン	23	585,892	599,319	▲ 2.2	▲ 3.3

【主要宿泊施設の宿泊者】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成25年11月	前年同月	前年比	参考: 24年前年比 (24/23)
合計	327,125	326,613	0.2	▲ 2.6
鹿児島地区	133,259	128,012	4.1	▲ 2.0
指宿地区	64,048	65,281	▲ 1.9	▲ 10.6
霧島地区	68,962	70,026	▲ 1.5	▲ 4.6
北薩地区	13,069	12,691	3.0	7.5
大隅地区	10,107	11,292	▲ 10.5	17.2
種子島地区	2,852	3,325	▲ 14.2	▲ 10.8
屋久島地区	12,951	14,499	▲ 10.7	7.9
奄美地区	18,314	18,016	1.7	11.9
その他	3,563	3,471	2.7	18.1

【観光施設・ドライブイン】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成25年11月	前年同月	前年比	参考: 24年前年比 (24/23)
合計	585,892	599,319	▲ 2.2	▲ 3.3
観光施設	490,912	499,889	▲ 1.8	▲ 5.0
ドライブイン	94,980	99,430	▲ 4.5	3.9

【 発地別宿泊客数の動向 】

1 地域別

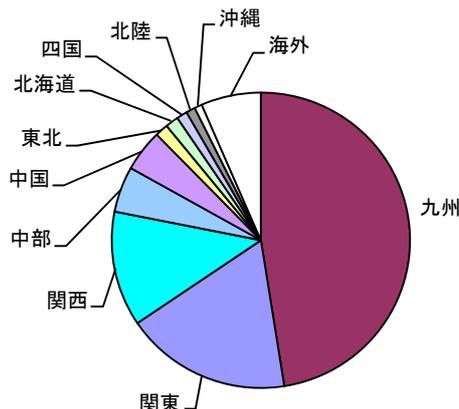
宿泊客数を地域別にみると、九州 132,164 人（構成比 47.5%）が約 5 割を占め最も多く、次いで関東 50,201 人（同 18.0%）、関西 35,049 人（同 12.6%）の順となっている。

地域別宿泊客数（延べ人数）

（単位：人、%）

	平成25年11月（構成比）	前年同月	前年比
合計	278,331（100.0）	279,133	▲ 0.3
北海道	3,950（1.4）	3,982	▲ 0.8
東北	3,952（1.4）	3,100	▲ 27.5
関東	50,201（18.0）	53,280	▲ 5.8
北陸	2,787（1.0）	3,031	▲ 8.1
中部	13,956（5.0）	16,587	▲ 15.9
関西	35,049（12.6）	36,990	▲ 5.2
中国	12,708（4.6）	14,179	▲ 10.4
四国	3,195（1.1）	4,571	▲ 30.1
九州	132,164（47.5）	129,208	▲ 2.3
沖縄	2,264（0.8）	1,763	▲ 28.4
海外	18,105（6.5）	12,442	▲ 45.5

地域別宿泊客数



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

2 九州県別内訳

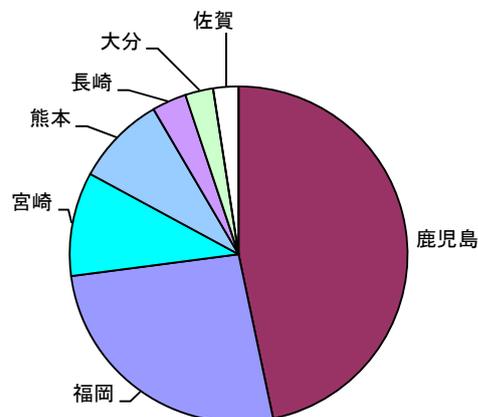
九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 61,749 人（構成比 46.7%）が最も多く、次いで福岡 34,626 人（同 26.2%）、宮崎 13,234 人（同 10.0%）が続いている。

九州県別内訳

（単位：人、%）

	平成25年11月（構成比）	前年同月	前年比
合計	132,164（100.0）	129,208	▲ 2.3
福岡	34,626（26.2）	36,304	▲ 4.6
佐賀	3,201（2.4）	3,810	▲ 16.0
長崎	4,357（3.3）	4,041	▲ 7.8
熊本	11,455（8.7）	10,790	▲ 6.2
大分	3,542（2.7）	3,594	▲ 1.4
宮崎	13,234（10.0）	12,944	▲ 2.2
鹿児島	61,749（46.7）	57,725	▲ 7.0

九州県別内訳



3 国・地域別内訳

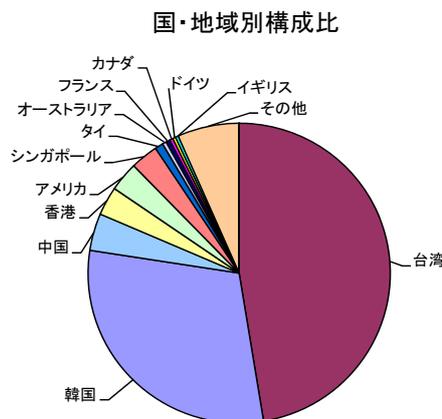
海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、台湾 8,282 人（構成比 47.4%）が最も多く、韓国 5,243 人（同 30.0%）、中国 700 人（同 4.0%）、香港 541 人（同 3.1%）、シンガポール 515 人（同 2.9%）の順となっている。韓国はプロ野球チームのキャンプ、台湾は鹿児島—台北線就航により観光ツアー客が増加し、前年を大きく上回った。

また、アジア以外の地域は、アメリカ 554 人（同 3.2%）、オーストラリア 76 人（同 0.4%）、フランス 74 人（同 0.4%）、などとなった。

国・地域別内訳

（単位：人、%）

	平成25年11月（構成比）	前年同月	前年比
合計	17,466（100.0）	11,561	51.1
台湾	8,282（47.4）	5,473	51.3
韓国	5,243（30.0）	3,622	44.8
中国	700（4.0）	370	89.2
香港	541（3.1）	254	113.0
アメリカ	554（3.2）	355	56.1
シンガポール	515（2.9）	324	59.0
タイ	154（0.9）	28	450.0
オーストラリア	76（0.4）	23	230.4
フランス	74（0.4）	37	100.0
カナダ	63（0.4）	44	43.2
ドイツ	56（0.3）	110	▲ 49.1
イギリス	55（0.3）	33	66.7
その他	1,153（6.6）	888	29.8



注：国・地域別回答があった先の集計のため、地域別宿泊客数とは一致しない

【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 183,730 人（構成比 66.5%）、団体客（15名以上）は 92,394 人（同 33.5%）となった。

形態別宿泊客数

（単位：人、%）

	平成25年11月（構成比）	前年同月	前年比
合計	276,124（100.0）	276,547	▲ 0.2
個人客（含む家族・小グループ）	183,730（66.5）	177,312	3.6
団体客（15名以上）	92,394（33.5）	99,235	▲ 6.9
内			
団体小計	92,394（100.0）	99,235	▲ 6.9
一般団体・企画商品	73,206（79.2）	81,956	▲ 10.7
大会	4,203（4.5）	3,741	12.3
教育旅行	14,985（16.2）	13,538	10.7

注：回答のあった先のみの集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は 12.2%、「前年並み」と答えた施設は 74.3%、「低い」と答えた施設は 13.5%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は 9.7%、「前年並み」が 76.4%、「低い」が 13.9%となった。

	客室単価	付帯消費額
合 計	100.0	100.0
高 い	12.2	9.7
前年並み	74.3	76.4
低 い	13.5	13.9

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は 33.3%、「前年並み」は 22.2%、「減少」は 44.4%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「増加」と答えた施設は 27.8%、「前年並み」は 38.9%、「減少」は 33.3%となった。

	売上金額	購入単価
合 計	100.0	100.0
増 加	33.3	27.8
前年並み	22.2	38.9
減 少	44.4	33.3

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 平成 25 年 11 月 1 日～11 月 30 日

・調査項目

- | | | |
|-----------------|---|---|
| ホテル・旅館 | } | <ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額） <p style="text-align: center;">対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択</p> |
| 観光施設・
ドライブイン | } | <ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数 ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択） |

・調査対象

(1) ホテル・旅館	86 施設	鹿児島地区	22
		指宿地区	10
		霧島地区	14
		種子島地区	5
		屋久島地区	5
		奄美地区	9
		大隅地区	8
		北薩地区	8
		その他地区	5
(2) 観光施設	18 施設		
(3) ドライブイン	5 施設		